

喜入旧麓地区景観形成重点地区指定取組

鹿児島市との連携協定にともなう喜入旧麓地区の景観保存活動

一第1回現地調査の概要―

国際文化学部国際文化学科·教授 太田 秀春

1. 実施日

平成27年(2015)6月14日(日)

2. 参加者

【大学】教員 1名(太田)

ゼミ生 22 名 (2 年生 11 名、3 年生 8 名、留学生 2 名、大学院生(TA) 1 名)

【鹿児島市】都市景観課 担当職員 1名(禰占様)

【地区住民】公民館の管理の方 3名

3. 調査概要

昨年度に締結された鹿児島市との連携協定に基づき、今後の活動の方向性やその可否を 探るために現地を訪問し、現状の把握と地域資源の調査を実施。

当日は大雨警報発令中の雨天という悪条件ではあったが、鹿児島市都市景観課の禰占様にご同行いただき、現地に到着した時点で幸いにも一時的に雨が弱まり、公民館を管理されている地域の方と合流して、ご案内をいただく。喜入旧麓地区を歩きながら、周辺の歴史的遺産や自然景観を2時間ほど調査。午後には知覧の伝統建造物群保存地区を視察することを計画していたが、豪雨になったためにミュージアム知覧に変更し、武家屋敷の復元模型や展示を利用して説明。予定を切り上げて帰着。

上記の現地調査の結果、喜入旧麓地区には興味深い地域資源が多数存在していることを確認。学生たちにとっても、現地で鹿児島市や地域の方々との調査は、ゼミで得た知識やスキルを社会に還元したり活かしたりするうえで得るものが多く、有意義な学びに。

4. 連携事業の今後

喜入旧麓地区の地域資源については、その意義づけも含めてさらなる調査が必要。その上で、地域にどのようなアプローチをしていくか、鹿児島市と調整する必要あり。これについては、7月7日に第一回調査の概要を鹿児島市都市景観課と話し合い検討中。

また、今回の調査で浮き彫りとなった多くの課題点をどうするか。

5. 来年度以降の活動を継続していくための課題

- ① 学生の金銭的負担の問題
- ・今回の交通費は、産学官連携センターから全面的な援助あり。しかし、連携先の鹿児島市都市景観課では今年度は予算化しておらず、来年度も都市景観課での予算化は期待薄。 調査は貸し切りバスでの移動が基本となり、1回の調査でも相当の費用が必要。
- ・調査は基本的に一日がかりになり昼食が必要。今回は学生負担で実施したが、調査のための必要経費に組み入れるのが妥当では。

② リスクの問題

- ・調査中の学生の事故や、器物損壊などのリスクに対する補償(学生部で加入している保険で対応できるのか)。今回は文化財など貴重なものに触れる活動であったため、課外活動用の一日保険に学生負担で加入したが、できれば大学や市で負担を。鹿児島県が実施している世界遺産PR活動では、参加学生の保険は県が負担。
- ・今回は雨天で、当日は朝方に発令された大雨警報の中で実施。昼食も団体で予約しており当日キャンセルは不可。バスや昼食をキャンセルした場合の負担の問題(現状では学生の負担に)。簡単に中止の判断すらできない、という事態を避けるための方策の必要性。
- ・全般的に校外での活動はリスクの問題がある。これらを解決する方策の整備。
- ③ 担当教員のインセンティブ
- ・これらの活動に対する大学内での位置づけ。実施している教員に対する評価の問題。見 方によっては大学で授業をしている方がリスクもなく楽。実施のたびに担当教員の持ち出 しが出ないような支援体制の実現を。
- ④ 鹿児島市との連携協定
- ・大枠はできているが、細部についてはさらに詰める必要性。

6. 調査風景



武家門と武家屋敷跡の調査



牧瀬家武家門と石塀 (景観重要建造物)



在地技術で築かれた江戸時代の石垣調査



伝説の残る名勝地・香梅ヶ渕

第36回谷山ふるさと祭踊り連参加

谷山ふるさと祭 総踊りに多くの学生や教職員が参加

秋の初めのまぶしいほど晴れ上がった 10 月 25 日に『第 36 回谷山ふるさと祭』が行われ、その踊り連に本学学生と教職員合わせて約 70 人が参加しました。

参加者はそろいの緑の法被を身にまとい「IUK。IUK」と声を合わせながら、おはら節やハンヤ節を踊り、本通りを練り歩きました。その踊りの賑やかさから沿道にいる地域住民からは多くの声援をもらい、その楽しさに引き寄せられた地元の小学生が本学の踊りの列に加わる場面も見られました。

また、昨年は降雨のため踊ることのできなかった「恋するフォーチュンクッキー」を全ての踊り連参加団体のみんなで動きを合わせて、優雅に愉快に踊りあげ心地よいひと時を過ごしました。参加した学生らは「地域の祭りに参加できて嬉しい。来年も参加したい」と話していました。



第30回国民文化祭・かごしま2015

国民文化祭「現代劇の祭典」ボランティアに関する報告

日 時 10月31日(土)、11月1日(日)9:00~19:00

場 所 谷山サザンホール

参加者 10/31:ボランティア学生 8名、職員 4名

11/ 1:ボランティア学生 8名、職員 3名

※2 日間の参加学生 16 名のうち両日参加 2 名の重複あり。

詳細は別紙、名簿参照

■参加学生について

10/30 (前日) に体調不良により 10/31 に 2名、11/1 に 2名のキャンセルがあったが、学生課 小林課長、清藤課長補佐のご協力により 10/31 に 1名、参加学生の宮野さんの紹介により 11/1 に 2名の追加ができた。

【当日の状況】

10/31⇒当日、体調不良 2 名、忌引き 1 名のキャンセルあり。結果 8 名の参加。 11/1 ⇒当日、体調不良にて 5 名のキャンセルあり。結果 8 名の参加。

■集客実績について

10/31⇒ 254 人 (内訳:大人 195 人 、小中高 59 人) 11/1 ⇒ 530 人 (内訳:大人 462 人 、小中高 68 人) ※2 日間の合計数 784 人

■概要

当初、学生ボランティア参加学生数については各日 12 名の予定であったが、前日や 当日のキャンセルがみられたことから、今後は補欠要員の確保も必要と思われる。 幸い、他の部局(学生課)の協力や学生紹介の追加により大幅な減は無かったものの、 やはり他部局との連携も密にしておく必要がある。

従事する学生については、全員よく頑張ってくれたので、主催者側の評価は良かった。 なかでもサークルに所属している学生においては、自分の立場や先を見越した行動など スムーズにできる傾向がみられた。このことから、今後、学生ボランティアセンター(仮 称)の設置にあたり、サークルと連動させサークル入会=ボランティア活動参加とし、 参加したサークルにポイント加算の特典(ポイント数に伴う活動費援助)なども取り入 れるとよいのではないかと思われる。







かごしま国民文化祭 開会式でウエルカムパフォーマーとして出演

10月31日(土),皇太子同妃両殿下の御臨席を仰ぎ,国内最大の文化の祭典「第30回国民文化祭・かごしま2015」の開幕を飾る「開会式・オープニングフェスティバル」が鹿児島アリーナで開催されました!!

そこに、国際文化学部教授のマクマレイ先生と国際文化学部の学生が、俳句を詠んだり歌を歌ったりするウエルカムパフォーマーとして参加してきました。およそ30分間のステージ出演でしたが、かわいいハロウィーンの衣装を着たりして500人以上の観衆や皇太子同妃殿下を前に、大いにステージを盛り上げてきました。



大和村地域振興事業

大和村フィールドワーク

期日:平成28年2月5日(金)~7日(日)⇒ 2泊3日

(船舶での移動を含めると2月4日(木)~2月8日(月)⇒ 4泊5日)

参加者:介護福祉コース3年生+岩崎ゼミ (演習Ⅱ:3年生)

(学生氏名: 男子学生7名+女子学生2名=学生9名

引率者: 岩崎 計10名

目的: 奄美大島大和村の地域の方々との交流およびフィールドワークをとおして、

- 1. 島の伝統的な生活文化や独居高齢者の方々の生活の状況を知る。
- 2. 地域の特性を活かした地域づくりの実際を学ぶ。
- 3. 若者の目線で、地域の資源の発見や課題の抽出、その解決策(地域資源の活用など)の検 討に取り組む。
- 4. 上記 1. ~ 3. をとおして、社会福祉専門職として地域社会で活躍できる実践能力を養う。

程 行

<1日目:2月4日(木)>

16:30 集合(庭児島中央駅東口(桜島側)アミュプラザ前5番バスのりば)

16:45 バス乗車 (鹿児島新港ポートライナー: 鹿児島中央駅 → 鹿児島新港)

17:05 鹿児島新港下車

18:00 フェリー出港 (鹿児島新港 → 名瀬港へ) ●マリックスライン「フェリーあけぼの」船内泊

<2日目:2月5日(金)>

5:00 フェリー着港(名瀬港)

5:20 ジョイフル奄美長浜店(朝食・時間調整)

8:30 バス乗車(中央病院前→大和村役場)

9:07 大和村役場前下車

9:10 大和村役場へ挨拶

10:45~ ①大和村立大和中学校の生徒との交流(2時間程度、交流・ディスカッション)

14:00~ ②大和の園の高齢者の方々との交流・職員の方々との意見交換会

夜~ 宿泊先で、聞き取りと中学生とのディスカッションのまとめ

●奄美フォレストポリス(大和村)泊

<3日目:2月6日(土)>

10:00~ ③集落の独居高齢者の方々との交流(交流・聞き取り)

14:00~ ④集落の支え合いグループの方々との交流(交流・聞き取り)

夜~ 宿泊先で、聞き取りのまとめ

●奄美フォレストポリス(大和村)泊

<4日目:2月7日(日)>

10:00~ ⑤役場職員の方々との意見交換会:大和村役場第1会議室(2時間程度)

13:00~ 大和まほろば館 → 大和村役場 → 名瀬港 時間調整(名瀬港周辺・奄美市内周辺)

21:20 フェリー発(名瀬港 → 鹿児島新港へ) ●マルエーフェリー「クイーンコーラルプラス」船内泊

<5日目:2月8日(月)>

8:30 フェリー着港(鹿児島新港)

8:40 バス乗車 (鹿児島新港ポートライナー: 鹿児島新港 → 鹿児島中央駅)

8:50 鹿児島中央駅下車 ~解散~

*上記企画 (①~⑤) について、報告書を作成し、後日、大和村へ提出する。

フィールドワークの内容

①2月5日(金)10:45~

<中学生との交流:2時間程度>

- ①中学生 13名
- ②ディスカッションまたは KJ 法
 - 大和村のいいところ
 - ・大和村の不便なところ
 - ・島(大和村)に残る、または島(大和村)に戻ってくるためには、島(大和村)に何が必要だと思うか
 - ・残っていたい島 (大和村)、戻って来たい島 (大和村) になるために、自分たち若者 ができることはないか。
 - ・どんな島(大和村)になって欲しいか。理想の島(大和村)。

②2月5日(金)14:00~

<特別養護者人ホーム大和の園の方々との交流:2時間程度>

- ①自己紹介
- ②おはら節の披露
- ③入所者の方々とのコミュニケーション
- ④職員の方との意見交換
 - ・限られた医療・介護資源のなかで、苦労されている点
 - ・限られた医療・介護資源のなかでの利点
 - ・人材確保について
 - ・台風や豪雨、津波等における防災について
 - ・地域におけるこれからの施設のあり方・役割について

③2月6日 (土) 10:00~

<集落の独居高齢者の方との交流:1~2時間程度>

- ①高齢者の方の選定:3~4名程度
- ②聞き取り内容
 - ・生活の状況(昔・現在)
 - ・昔の集落について
 - お祭りや風習について
 - 日々の楽しみについて
 - 不安なことについて
 - ・どんな大和村(集落)になって欲しいか
 - ・若者に期待すること
 - *時間があれば、八月踊りを教えてほしい

④2月6日(土)14:00~

<集落の支え合いグループの方との交流:2時間程度>

- ①集落・聞き取り対象者の選定:1ヵ所または2ヵ所・1~2名
- ②聞き取り内容
 - ・地域における支え合い活動までの経緯
 - ・地域づくり活動内容について
 - ・活動の効果について
 - 活動をして良かったこと、苦労していること
 - ・活動における今後の課題について
 - *時間があれば、八月踊りを教えてほしい

⑤2月7日(日)10:00~

場所:大和村役場第1会議室)

<役場職員の方々との意見交換会:2時間程度>

- ①大和村や集落の方々の印象
- ②集落の方々との交流をとおして学んだこと
- ③若者の視点で、村の活性化についての意見交換

「大和村フィールドワーク」で地域づくりを学びました。

大和村が全国に先駆けて行っている地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを学ぶために企画しました。2 泊 3 日(2 月 5 日~7 日)の行程で、村内の子どもや高齢者、地域住民との交流を通して、地域の特性を活かした地域づくりの実際を学ぶほか、若者の目線で村の資源発掘や提言などを行いました。

1日目の午前は、大和中学校で中学3年の生徒たちとともに「村のいいところ」「不便なところ」「必要なもの」「今、自分にできること」などを考えました。また午後からは、大和村立特別養護老人ホーム大和の園で入所者の方々と一緒に「おはら節」「恋するフォーチュンクッキー」を踊りました。その後、施設職員と情報交換を行い、限られた医療・福祉資源における施設の工夫やこれからの取り組みについて学びました。

2日目は、国直集落の独居高齢者の方々から生活の状況の聞き取りを行い、地域における互助機能の大切さについて学びました。また、名音集落では、地域支え合い活動"ティダの会"の高齢者の皆さんと島唄に合わせて、八月踊りをみんなで踊り交流を図りました。

3日目は、大和村村長をはじめ職員の方々と意見交換を行い、若者目線での提言を行いました。最後に村の特産物のすももを使った"すももソフトクリーム"をご馳走になりました。



大和中学校3年生との交流



特養「大和の園」の入所者の皆さんと "恋するフォーチュンクッキー"を踊る



大和村特産の"すももソフトクリーム"



大和中学校3年生 KJ 法を行う



地域支え合い活動"ティダの会"で高齢者の方に八月踊りを教わる



大和村役場職員の方々との意見交換会

ふるさと水土里の探検隊

ふるさと水土里の探検隊 (八幡・諏訪地区)

産学官地域連携センター長 大久保 幸夫

本事業は、鹿児島県(農政部農村振興課)との連携事業で、地域住民と本学学生が共同で集落点検やワークショップ、住民アンケート調査を行い、大学生による地域づくりの提案等を踏まえ、地域課題の整理や保全活動計画を作成し、地域住民活動の活性化を図ることを目的としている。平成21年度から毎年地域を変えて実施している。今年度は、経済学部経済学科の菊地ゼミ2年生9名と菊地教授、大久保が参加して、日置市日吉町川東(八幡・諏訪)地区で行われた。なお、本事業推進のために鹿児島県と本学は、平成27年12月3日に連携協定を結んでいる。

打合せ:平成27年10月28日、探検隊の実施にあたり、地区、県、大学が連携して 進めていくための今後の方針について協議した。(八幡地区集会施設)

第1回目:平成27年12月5日(土)に総勢80名余りが集まり、4コースに分かれて集落点検を行った。その後、地域の現状や課題などの意見を出し合い、集落点検マップを作成した。

第2回目:平成28年1月30日(土)、第1回目で作成した点検マップを再確認しながら、地域の良いところを活かしかつ地域の課題を解決するにはどのようにすればよいかについて話し合い、アイデアを出し合った。(八幡地区集会施設)

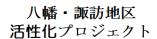
第3回目:平成28年3月18日(金)、第2回目の話し合い結果をもとに、本学が行ったアンケート調査結果の報告と学生たちからの地域活性化策の提案を踏まえ、八幡・諏訪地区の活性化に向けた将来像や具体的な活動計画について話し合った。学生たちと教員は、この提案のために3回学内で話し合いを行った。

学生たちにとって、知らない地域に入って調査(フィールドワーク)を行うのは初めてのこともあり新鮮であったようだ。KJ法のようなデータのまとめ方やファシリテーション等フィールドワークの方法について勉強する機会にもなったと思われる。また、若いひとが少ない地域で、大学生との交流や意見交換、地域活性化提案は、住民の皆さんに歓迎されていた。次年度も、入門的なフィールドワークとして継続していきたい。









鹿児島国際大学 菊地ゼミナール

静かさの維持?活気ある地域に?

- アンケート調査によると・・・
- 静かさ、穏やかさは維持したい
- 一方で、少子高齢化、人口減少、行事の継承などを考えると、若い人を中心に移住者が増えてほしい
- また、魅力的な地域資源を整備・PRして、訪問者をもっと増やしたい

提案1-土日限定の物産館の開設

- 場所は、体育館や駐車場などで
- ・ 地域で作られた米や農作物を販売
- 空き家の整備・紹介
- ・ 八幡・諏訪地区(日吉町)の歴史展示
- 地域行事のお知らせ
- お茶スペース(サロン)を作り、地域の人同士や それ以外の人の交流の場とする
- ・ 収益の一部で神社の修繕等を行う



八幡・諏訪地区の課題

- ・ 車がないと、買い物、移動などが不便
- 少子高齢化、人口減少などで寂しくなってきた
- 祭りなどの行事の担い手や、農業などの後継者が 不足してきている
- 耕作放棄地が多い
- 空き家も多い
- ・ 流動人口は比較的多い(スポーツ大会など)

1

- 住みやすい快適な環境と、人が増えて活気ある まちづくりを両立させていくにはどうすればよい か??
- まずは、地区内の人や地区外からの訪問者と交流できる場をつくり、八幡・諏訪地区についてもっと知ってもらうことが大事ではないか!?
- そこで・・・

提案2-祭りや行事のさらなる活性化

- せっぺとべ特別枠をつくる
- 地区外の子ども達のチームを作り踊ってもらう。 それによって、せっぺとべのことをさらに知ってもらい、次世代に受け継いでいってもらう
- せっぺとべなどの行事に合わせて、スポーツ大会を開催する(妙円寺詣りのように)
- 特産品販売や花火大会、農業体験、手打ちそば 作り体験などと組み合わせる
- 事前にマスコミを活用して効果的なPRを行う

提案3-企業の新入社員研修の誘致

• 新入社員研修をせっぺとべ館等で行うことを 企業に打診し、研修の一環として、地域の魅 力発見・創造のために、市や住民の方々と議 論などをしながら、1つのものを作り上げてい おわりに

- 今まで日吉町八幡・諏訪地区のことはほとんど知りませんでしたが、貴重な伝統行事や歴史・文化遺産、のどかな自然・景観など、たくさんの魅力的な資源があることがわかりました。
- このような貴重な機会を与えてくださった地域 の皆さん、鹿児島県庁の皆さんに心よりお礼 申し上げます。

13

10

阿久根市地域活性化プロジェクト

2016年 3月 12日(土)

10:00 > 16:00

場所阿久根馬

(にぞかい灰流館 阿尔根島や)

イベント盛りだくさん/

1570

認定之活園阿久根園 園児によるマーチング演奏

1×1+3

阿双根 中学校 生徒による 吹奏楽演奏

1六十3

阿贝根 小学校 児童による 合唱

1八十个 應児島 国際大学 学生12-13 よさこい

全催 鹿児島国際大学

後援 阿久存息市 肥薩おれんじ鉄道株式会社

協力 認定以此園 阿久根園 阿双根中学校 阿贝根小学校

北麓、熊本のうんまかもん集めました!!

AB 薩おれんじ鉄道応援!

ウんまかもん大集合/

うんまかもんの

の北麓、熊本のおいい 銘菓の数々!

鹿児島国際大学の学生が 集めましたじ

彦一もなか





4写真は販売商品の一部です

うんまかもん②

数量限定 ⑥ 特製弁当

。おれんじ金矢道で料理を提供! 「農園レストラン三蔵」の弁当

。全国馬や大会で数々の賞を受賞! 「本公栄車子」の くまもとあか牛ランチボックス

·新原にお魚いっはい!

「太郎寿司」の弁当

。内のうまみが口中に広がる!

「焼肉いさん」の弁当、





そうしん草トラ市 书開 催予定

お問い合わせ

鹿児島国際大学 產等官連携429-御)應規島市坂江上 8-34-1

TEL: 099-263-0686 FIAX: 099-261 - 3536

「肥蔭おれんじ鉄道応援!沿線うんまかもんフェア in 阿久根駅」 開催について

(Y) 1866年 - 11 - 14 - 18 的医

医骨盆皮肤 经二倍分分

1. 目 時 : 平成28年3月12日(土) 10:00~16:00

2. 場 所 : 阿久根駅 (にぎわい交流館阿久根駅)

3. 主 催 : 應児島国際大学

協力: 阿久根市、鹿児島相互信用金庫、認定こども園あくね園、阿久根小学校、

阿久福中学校

後 援 : 肥適おれんじ鉄道株式会社、鹿児島県肥蔭おれんじ鉄道利用促進協議会

(內醫)

11 9:30 弁当臺理券配付((三蔵特製弁当、くまもとあか牛ランチ BOX、ぼんたんチラシ、モーうに弁当)

9:50 阿久根中学校吹奏楽部によるオープニング演奏

10:00 オープン(菓子等販売開始)

10:30 阿久根中学校吹奏楽部による演奏

10:45 弁当販売開給(警理券待参者優先)

11:23 おれんじカフェ到着

認定こども園あくね園園児によるマーチング演奏(11:25 頃、駅前広場で)

11:46 おれんじカフェ発車

みんなでお風送り

12:00 阿っくんと鹿児島国際大学よさこい創生児による踊り被露

13:00 阿久禄小学校合唱部による合唱

16:00 終了

5. 販売商品等(予定)

<スイーツ(銘菓)>

阿久根 …オムレットケーキ (日嗣屋)、さざえ最中 (三春堂)、山田楽 (菓子工房いしはら)、いちご大福 (きくや)

薩摩川内…じゃっせん(蔦屋)、おやじのマドレーヌ (ルプレジール)

長 島 …赤まき(坂之下製菓)

出 水 …テーズまん笑顔 (窠匠たなか)、いずみいもクッキー、南国しぼり、なっちゃん (以上、バースディ)

水 俣 …かりんとう万十、甘夏かすた一ど(以上、鬼塚日昭堂)、くまもとのお米、くまもん歳中、レモンケーキ(以上、とくとみ懇違)

八一代 ・・・ 彦一もなか、 晩白紬ゼリー。トマトジュレ (以上、お菓子の彦一本舗)

<弁当、パン、その他>

阿久根 一ぼんたんちらし(太郎寿司)、モーうに弁当(焼肉ひこさん)、原木しいたけ、えのき茸、味茸(以上、三笠えのき茸生産組合)、つけあげ、あおさのり、ひじき、塩うに(以上、福美丸水産)

長島 …特製食パン(坂之下製菓)

1000-1000年代表第3**54.6**600-1000

出 水 …特製弁当 (農園レストラン三蔵)、くまもとあか牛ランチ BOX (松栄軒)、

お問い合わせ

and Park Value

インターンシップ成果報告会

庭児島相互信用金庫・鹿児島園際大学 産学連携事業 「3日間社長のカバン特ち体験」学生報告会 実施結果

開催日時 平成 28年1月18日(月) 18:00~20:30

開催場所 鹿児島サンロイヤルホテル

【学生報告会】エトワール (1階)

17:00 受付開始

18:00 開会

· 鹿児島相互信用金庫 挨拶

賦句 辰治専務理事

・鹿児島国際大学 挨拶

津曲 貞利学長

18:15 学生発表

・谷口 政成 (タニグチ マサナリ)

鹿児島国際観光株式会社

・東泊 彩華(ヒガシドマリ アヤカ) 株式会社まからず屋 ・牧迫 千晴 (マキサコ チハル)

・中﨑 隼人 (ナカザキ ハヤト)

三和建設株式会社

日置市役所

・藤 亜莉沙 (フジ アリサ)

株式会社フジヤマ

受入企業からの意見・感想

・三和建設株式会社

前田社長

· 日置市役所 総務企画部企画課

小園係長

· 鹿児島国際観光株式会社 総務部 仮屋係長

留学生発表(そうしんブレーン 21 香港 TOBO 会に通訳として参加)

・姜 昊 (ジャン ハオ)

【懇親会】高限の間(2階)

19:10 挨拶・乾杯

・司法書士法人 リーガルフラッグ 桑鶴 浩二代表社員

19:15 懇親会

20:25 お礼のことば (学生全員登壇)

・学生代表 岡留 大聖(オカドメ タイセイ)

20:30 締め

· 鹿児島国際大学 大久保幸夫副学長

【当日の出席者数】

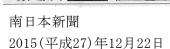
	報告会	懇親会
受入企業	14名	13名
鹿児島国際大学学生	23名	2 2 名
鹿児島国際大学関係者	11名	10名
鹿児島相互信用金庫関係者	21名	2 2 名
合 計	69名	67名

新聞記事等



南日本新聞 2015(平成27)年12月15日





があった。

市と鹿国大は、

0

取り組む。18日、市役 で同市の地域活性化に 用金庫は、産学官連携

しい」などの意見が出

の拠点(COC)大学」 2015年度「地(知) 初会合 文部科学省の

◆COC事業推進へ

人材育成」「国際教育プログラム「良から実施する二度から実施する二

事業に伴って16年



活

性



南日本新聞 2016(平成28)年3月8日



相互信用金庫専務理事(左)ら=西之表市役所

地方創生で講演樋渡・元武雄市長

鹿児島国際大 図書館や、一大産地化 など、市長時代に取り したレモングラス生産 に運営を委託した市立

南日本新聞 2016(平成28)年2月5日

(知) の拠点 (COC)

イナスや欠点は、『小

生、関係者270人が ッションに市民や学 講演やパネルディスカ 県武雄市長=写真=の た。樋渡啓祐・元佐賀 シンポジウム」があっ て理解を深める「地 生と地域活性化につい 際大学で4日、地方創産児島市の鹿児島国

話した。

経済学科4年の常見

ドを目指すべきだ」 とまらずトップブラン 一ラスになる。小さくま ざるを得ない』などプ 回りがきく』『泊まら い』『不便』などのマ つを紹介。「『町が小さ ら、地域活性化の秘け 組んだことを挙げなが

ع

ル大手TSUTAYA

一の意見や若い力を取り 優斗さん(22)は「外部

で、地方は

話した。 展できると 今以上に発 入れること 樋渡さんは、レンタ

所で協定などの調印式一けるほか、若い学生や 中心一イールドワークなどで一西之表市も事業協働地 結。教員から助言を受 力する包括協定を締 ど地域課題の解決で協 観光客受け入れ促進な一学省の「地(知)の拠一で店街の振興や外国人」打開策を探る。文部科 留学生の視点によるフーラム」を実施する計画。 鹿相信、鹿国大と協定 産学官連携

際大学、鹿児島相互信

西之表市、鹿児島国

西之表市

認定された鹿国大は自 点(COC)大学」に 治体や企業と「地域が 求める人材育成プログ

させたい」と期待。 らい、地方創生を成功 ウを十分活用させても 見や金融機関のノウハ は「大学の専門的な知 積を提供し、地域に貢 曲貞利学長は「知の蓄 提言する。長野力市長 けて共同研究し、 相信が地域活性化に向 交わした。鹿国大と鹿 は、共同事業の覚書を 献する」と述べた。 鹿相信を含めた3者 虚

南日本新聞 2015(平成27)年11月24日



南日本新聞 2016(平成28)年3月6日



南日本新聞 2016(平成28)年3月23日



南日本新聞 2016(平成28)年2月6日



南日本新聞 2016(平成28)年2月26日

委員名簿 • 事務局

◎地域人材育成委員会•委員名簿

(平成28年3月31日現在)

氏名	所属・職名
津 曲 貞 利	鹿児島国際大学 学長
大久保 幸夫	鹿児島国際大学 副学長・産学官地域連携センター長
飯 田 敏 博	鹿児島国際大学 副学長・学生総合支援センター長
岡田 和憲	鹿児島国際大学 事務局長
福島 誠治	鹿児島大学学長補佐・産学官連携推進センター長
松木園 富雄	鹿児島市 副市長
寺地 正吉	阿久根市 副市長
坂 元 茂 昭	西之表市 副市長
伊 集 院 幼	大島郡大和村 村長
白川 順二	南大隅町 副町長
内 道 雄	かごしま市商工会 会長
稲 葉 直 寿	鹿児島相互信用金庫 理事長
滿田學	鹿児島興業信用組合 理事長

◎教育プログラム開発委員会・委員名簿

(平成28年3月31日現在)

042(14)	
氏名	所属・職名
大久保 幸夫	鹿児島国際大学 副学長・産学官地域連携センター長
飯 田 敏 博	鹿児島国際大学 副学長・学生総合支援センター長
岡田 和憲	鹿児島国際大学 事務局長
小 林 潤 司	鹿児島国際大学 教務部長
飯 田 伸二	鹿児島国際大学 研究教育開発センター長
高橋 信行	鹿児島国際大学 地域総合研究所長
菊 地 裕 幸	鹿児島国際大学 経済学部教授
太田秀春	鹿児島国際大学 国際文化学部教授
岩 崎 房子	鹿児島国際大学 鹿児島国際大学福祉社会学部准教授
池田 哲也	鹿児島市 政策企画課長
山元 正彦	阿久根市 企画調整課長
松 元 明 和	西之表市 経済観光課長
郁島 武正	大島郡大和村 総務企画課長
石 畑 博	南大隅町 総務課長
武田 清孝	かごしま市商工会 広域担当経営指導員
梶 原 隆 夫	鹿児島相互信用金庫 理事・営業開発部長
鮫 島 俊 三	鹿児島興業信用組合 理事・総務部長

(事務局)

(平成28年3月31日現在)

氏名	所属・職名
迫田 耕一	産学官地域連携センター次長
関 博信	産学官地域連携センター COC 推進室参事
和田 由紀乃	地域総合研究所 係長
北山 政信	産学官地域連携センター
海江田乃扶子	産学官地域連携センター書記
上 治 麻 美	産学官地域連携センター事務補助員